

プラス記事 3%減、ニュートラル・マイナス記事 7%減

JR東日本、新駅名が話題に ソフトバンク2社が3カ月連続ランクイン

12月度のプラス評価は73億6910万円、ニュートラル・マイナス評価は77億2559万円だった。前月と比較するとプラス換算値は3%減、ニュートラル・マイナスは7%減だった。12月は海外企業の買収や提携の話題が取りあげられた企業のランクインが目立ったほか、「人」の換算値増加による順位上昇も見られた。

1位JR東日本は、山手線の田町 - 品川駅間に2020年春開業予定の新駅の名称が「高輪ゲートウェイ」に決定したニュースが話題となった。4日の発表を翌日全紙が一面や社会面に掲載して換算値を伸ばした。同社の都内の駅でカタカナ語が入った名称は初となり、「駅だって『キラキラネーム』名乗りたい?」(朝日)「山手線にカタカナ駅名」(読売)など注目を集めた。「出来レース?歴史考慮せず」(毎日)など、選定プロセスについての疑問の声を取りあげてニュートラルとなる記事も見られた。

7位ソフトバンクグループと8位ソフトバンク

は、3カ月連続で両社そろってランクインした。ソフトバンクの東証1部上場をめぐり、売り出し価格決定が報じられた11日と上場当日の19日夕刊から翌20日にかけて報道が集中した。一方で上場日の最終取引価格は売り出し価格を15%下回ったため「売り出し価格割れ、証券市場に失望感」(毎日)などの記事も見られ、ニュートラル換算値も増加した。

5位JTBは2016年5月以来2年7カ月ぶりのトップ10入りとなった。毎日「変革」で民泊やネット競合サービスの隆盛など時代の変化に対応する戦略が紹介され、この連載が換算値の85%を占めた。

10位武田薬品工業は、5日にアイルランド製薬大手のシャイアー社の買収を臨時株主総会で可決し、日経・朝日・読売の夕刊一面で報道された。同日、シャイアー社の臨時株主総会でも買収が承認され、6日の全紙が記事化した。5日と6日のプラス換算値は合計で5346万円となったが、買収による巨額負債を指摘してニュートラルとなる記事も多かった。

プラス記事掲載ランキング

換算値:千円

順位	企業名	換算値	主要な掲載要因
1	JR東日本	237,670	山手線の新駅名を「高輪ゲートウェイ」に決定。次世代新幹線の試験車両を公開。
2	トヨタ自動車	224,276	福岡国際マラソンで服部勇馬選手が日本人で14年ぶりに優勝。「人」38%。
3	日立製作所	135,257	スイスABB社の送配電事業の買収を発表。「提携・合併」52%、「技術」21%。
4	日本郵便	133,362	平成最後となる年賀状の受け付けを開始。専用バッグでの「置き配」実証実験。
5	JTB	121,560	毎日「変革」で同社を連載。朝日「ひと」に社員の花田欣也氏が登場。「販売」75%。
6	ツイッター(米)	117,926	日経がデータ規制についてのジャック・ドーシーCEOのインタビューを掲載。
7	ソフトバンクグループ	114,175	通信子会社のソフトバンクが東証1部に上場。調達額2.6兆円に。「経営」79%。
8	ソフトバンク	111,495	東証1部に上場。初値1463円、時価総額は6兆円台に。「経営」58%。
9	日本郵政	105,004	米アフラックへの出資を発表、4年後に筆頭株主へ。「提携・合併」77%。
10	武田薬品工業	92,235	臨時株主総会で欧州製薬大手シャイアー社の買収を可決。「提携・合併」61%。
11	アフラック(米)	74,999	日本郵政が2700億円規模の出資を発表、商品開発で連携へ。「提携・合併」96%。
12	丸紅	73,850	読売「LEADERS」に国分文也社長が登場。「社長・会長」76%。
13	日清食品	71,628	読売「仰天ゴハン」で『チキンラーメン』の創作料理店を紹介。「商品」76%。
14	SOMPOホールディングス	65,560	読売「LEADERS」に桜田謙悟社長が登場。「社長・会長」92%。
15	高島屋	60,317	朝日「凄腕つとめにん」にギフトアドバイザーの中川恵喜子氏が登場。「人」54%。
16	旭化成	57,377	日経が東京学芸大付属高で開催した吉野彰名誉フェローの特別授業を掲載。
17	資生堂	56,706	日経「NIKKEI The STYLE」で同社経営のレストラン「FARO」を紹介。
18	明治安田生命	56,663	朝日「なるほどマネー」に山本英生シニアFPコンサルタントが寄稿。「人」51%。
19	JRグループ	56,352	読売が新幹線乗務員用の防犯対策アプリを紹介。年末年始の予約状況など。
20	LINE	56,138	渋谷公会堂の命名権を取得。自社開発のAI技術を有償で開放へ。「商品」32%。